

第1回学校運営協議会 議事録

校名	府立寝屋川支援学校
校長名	南 貴子

開催日時	令和 7年 11月 12日(水) 10:30 ~ 12:00
開催場所	府立寝屋川支援学校 1階 視聴覚室
出席者(委員)	山中会長(学校法人奈良学園 奈良学園大学) 眞鍋副会長(帝塚山大学)
	森本委員(寝屋川市立北小学校) 藤本委員(寝屋川市立あかつき・ひばり園)欠席 川橋委員(グローバルコミュニティ株式会社)
出席者(学校)	南校長、清水事務長、日置教頭、東川教頭、亀村首席、西橋首席、安慶田首席、渡辺首席、伊佐敷小学校部主事、横野中学部主事、山本高等部主事、坂元進路指導主事
傍聴者	
協議資料	特別支援学校知的障がい者用著作教科書(活用事例集)
備考	

議題等(次第順)	
(1)定足数確認	
(2)校長挨拶	
(3)報告事項	
特別支援学校知的障がい者用著作教科書(活用実践事例集)	
(4)校内見学	
(5)協議及び提言	
報告事項について	
校内見学について	
(6)校長挨拶	
(7)事務連絡	

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- (3)報告事項
- 特別支援学校知的障がい者用著作教科書について
- すべての学習ニーズを教科書のみで満たすことは難しいため、☆本を活用しつつ、教科の教材をアレンジして授業を展開している。
  - 高等部・生年の事例として、国語5つの教科書にある「俳句」の単元での活用を報告した。教科書見開き1ページの内容を、写真を用いたスライドで分かりやすく提示した。また、季語を示してワードカードを提示したり、先輩たちがつくった俳句を紹介したりして、実験体験を俳句にする活動も行った。
  - 「シラバス」と「教科書(☆本)」は魅力ある授業づくりの実現アフターケートを実施。50件の回答を得られた。授業計画や個別の指導計画の目標設定、観点別評価にシラバが活用されていることがアンケート結果から読み取ることができた。また、☆本の活用画面は教科研究や授業という回答が多かった。☆本活用頻度としては、「あまり使っていない/使ってない」という回答が50%だった。活用によって、授業がよくなかったと感じた工夫や実践例もアンケートから得られたため、「あまり使っていない/使っていない」教員がより活用しやすくて貰いために、事例の紹介等の活用法を示していくことが今後の課題である。
  - All:アンケート結果を要約してまとめたところ、①授業づくりに対する意欲が強い②ICTや教材づくりのスキルを伸ばしたい③授業準備や引き継ぎのし込みが十分でない④若手・中堅への支援ニーズが高い⑤授業の質を支える環境整備も課題⑥研修・外部とのつながりにも前向きであるという6つの観点に整理された。
- (5)協議及び提言
- ①報告事項について
- ・眞鍋委員)教員が多忙な中でも授業準備に時間を使っているのがよくわかった。さまざまなことを教えるが、子どもたちの状況を見て学習内容を精査して授業をしている。パワーポイント、ワークシートなどを見ているとその印象は強い。先生方のご 苦労がわかった。ありがとうございます。解説書の値段ばかり高い。1冊が何万円ある。いろいろな先生が、特に新しい先生に一人1冊ずつあれば良いが、どうしているのか。
  - ・安慶田首長)教科ごとに何冊あるかはリサーチ不足でわからない。各学部各学年で1冊ずつあればいいの?といふ声は聞いている。今後少しずつ増やしていくらしいなど思っている。先生方にも周知していただけたら、全くないわけではないので、上手く貢献して共有しているのが現状。
  - ・校長)学校経営計画に記載している内容について、今後取り組んでいく方針に関してコンセンサスが得られた状況である。徐々に貢っていく予定だが、どこの予算にもないため、校長マネジメント予算になっている。
  - ・山中会長)苦労されている。引き続きすべての先生方が手に取って見ていただけるように。☆本について、3階の職員室出たところに綺麗に並べておられる。図書の貸し出しのようになります。先生方へ進めていただけた。
  - ・松本委員)一番高いレベルの高等部の授業、一般的に知識として知っておけばいろんな人のコミュニケーションが取りやすい内容をピックアップされ、教科で学習している。知識として知っておけば良いことが、ちゃんと学べているんだなと思いました。色々な機会を与えるといふところで豊富がある。それぞれのレベルに合わせて学べる内容を分けている。とても素晴らしいと思った。ありがとうございます。
  - ・川橋委員)俳句の授業、教科書からパワーポイントで資料を作っている。時間がない中で、時間がかかる大変だと思う。見せさせていただけてすごく良い資料だと思ったものの、非常に時間がかかるので、先生方は授業で使う資料の情報共有はどうされてるのか。良いものであれば共有できたらと思うが、企業もなかなかそういう風にできていない。
  - ・安慶田首長)教材の共有は、各学部学年で集約の仕方がバラバラな状況。教材のパンくずしで教科から先生方が実践されている教材を1つの所に集約して、どこからでも先生方がアクセスできるようにして、授業づくりに生かせるように現在進めている。
  - ・山中会長)素晴らしい。さきのGPTにもあったが、若手中堅の授業につながっている。子どもたちのためにやっていくう、力を合わせてやっていくうといふこと。寝屋川支援学校の伝統が昔からある。ペテランの先生が若い先生にICTのことを聞くとも交流の一つ。沟通が普通になれば素晴らしいと思う。
  - ・森本委員)個別最適な指導の課題は、本校も同じ。アセスメントを含めた上での難しさを感じている。子どもたちの課題の幅が大きいほど、より苦労していると思う。働き方改革にむけて、教材パンくずしで視点などからシステム化だけではその実現は難しいと思う。人と人との交流をいかに作り、共にしていくかなど、いろいろな課題がある。
  - ・山中会長)小学校の実際の状況を語っていた。人と人との心の合い合い、そこから子どもたちへの学び教えるというところも笑いていただけると思う。支援学校の良いところは、一つの授業を複数の先生でやってやられる。このチームというところが学びの多いところだと思っている。若い先生方は悩まれていると思うが、中堅・ペテランの方と一緒に組むことで、何か学びになって子どもたちに還元されればといふのは、支援学校ならできることだと思うのでぜひ深めていただきたい。

②校内見学について

- ・川橋委員)高等部の舞台発表練習、急に来たのに緊張することなく練習されていた。本番も悔いのないようにしてもらえた。午後から私たちの企業で高等部向けにビジネスナーの授業をさせていただく。私も頑張らなければと思いつながら見学させてもらった。
- ・松本委員)子どもたちの実態に対して、できることまずは見つけてあげるところを広げてやっているなと思う。粘土を触るとか、いろいろな興味をもたせていただく。挑戦させていただけて世界が広がっていくところがある。中学校段階からルールを守るなど社会に出るための訓練みたいなものをスタートさせていただけているところ。これで世界が広がっていくところがある。彼らが自分たちのための特徴的な行動を身につけていくと思う。
- ・森本委員)個別最適な指導の課題は、本校も同じ。アセスメントを含めた上での難しさを感じている。子どもたちの課題の幅が大きいほど、より苦労していると思う。働き方改革にむけて、教材パンくずしで視点などからシステム化だけではその実現は難しいと思う。人と人との交流をいかに作り、共にしていくかなど、いろいろな課題がある。
- ・山中会長)小学校の実際の状況を語っていた。人と人との心の合い合い、そこから子どもたちへの学び教えるというところも笑いていただけると思う。支援学校の良いところは、一つの授業を複数の先生でやってやられる。このチームというところが学びの多いところだと思っている。若い先生方は悩まれていると思うが、中堅・ペテランの方と一緒に組むことで、何か学びになって子どもたちに還元されればといふのは、支援学校ならできることだと思うのでぜひ深めていただきたい。

(6)校長挨拶

- ・たくさんのお褒めの言葉をいただき、私たちも頑張らなければと思ってる。☆本の話では、小学部・中部部・高等部で☆本を使うバーセンテージをお示したが、中部部・高等部と年齢が上がってくると、社会に出ていくこと、生き方というところを考えていかなければいけなくなる。ホーラン・ソウガができるとかそういうところに教育のポイントがあつたように課題、教科書の活用が、それぞれの子どもの個別の指導計画にどのように反映され、どう進めていくかというところ。教科打ち合わせ会などで検討していただいたら良いのではないかと思います。学校経営計画の進捗状況、学校教育自己診断を保護者様、教職員の皆さんがなさっているということで、結果が出たまま教えていただきたい。検討すべきことがあればみんなで検討し、学校の運営、経営がよりよ進んでいくようにと考えています。

(7)事務連絡

- ・協議内容によっては次回の開始時間を早めさせていただきます。□

次回の会議日程	
日時	令和 8年 2月 4日(水) 10:00~
会場	寝屋川支援学校 視聴覚室